

5 良好な景観の形成に関する方針

玉村町の景観は、景観の同質性から「田園居住ゾーン」「市街地ゾーン」の2つにゾーンを区分し、景観づくりの重要性から拠点として設定した旧玉村宿のエリアを「重点景観形成ゾーン」として抽出します。

また、「田園居住ゾーン」は、主とする土地利用形態から「田園景域」「居住景域」に細分します。

景観構造として設定した軸及び拠点・スポットは、これら4つのゾーンに位置しており、そのゾーンにおける景観の特性に応じて景観形成の方針を設定する必要があります。

このため、ゾーンと軸、拠点の組み合わせから、良好な景観の形成に関する方針を設定します。

景観構造	田園居住ゾーン		市街地ゾーン	玉村宿重点 景観形成ゾーン
	田園景域	居住景域		
ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと感じさせる田園風景をまもる ○景観資源として農地をいかす 	<ul style="list-style-type: none"> ○田園風景に調和した集落の景観をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○やすらぎの感じられる住宅地景観をつくる ○にぎわいのある商業地の街並みをつくる ○周辺との調和に配慮した工業地景観をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○旧宿場町の風情が感じられる街並みをまもる
軸	<ul style="list-style-type: none"> ○田園風景と調和した美しい沿道景観をつくる ○緑豊かな水辺景観をまもる 	<ul style="list-style-type: none"> ○田園風景と調和した美しい沿道景観をつくる ○水辺景観を自然豊かなよいものにする 	<ul style="list-style-type: none"> ○沿道の特性にみあった美しい沿道景観をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○旧宿場町の風情を演出する道路景観をまもる
拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○特色ある水や緑の景観をいかす ○歴史的な景観資源をまもり・いかす ○町の玄関口にふさわしい拠点景観をつくる ○眺望点にふさわしい環境をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の心のよりどころとなる社寺をまもり・いかす 	<ul style="list-style-type: none"> ○景観づくりを先導する拠点景観をつくる ○地域の心のよりどころとなる社寺をまもり・いかす 	<ul style="list-style-type: none"> ○町のシンボルとなる景観資源をまもり・いかす



5-1 田園居住ゾーンの景観形成方針

(1) 田園景域

【景観づくりのあるべき方向】

上毛三山などの周囲の山並みを望む、「麦秋の郷」の保全

<ゾーンの方針>

○ふるさと感じさせる田園風景をまもる

- ・営農環境の整備をはじめとする農業振興策を推進することにより、農地の保全と適切な維持管理を促進し、ふるさと感じさせる美しい田園風景を保全します。
- ・周囲から突出した高さや規模の大きな建築物、工作物への景観的な配慮を促し、背景となる山並みへの優れた眺望を保全します。
- ・目立ちやすい土木構造物を生じる土地の改変や屋外における資材などの堆積・貯蔵を適切に誘導し、周辺の良い田園風景を保全します。
- ・用水路は、田園風景を構成する重要な要素と捉え、周辺の自然的な景観との調和に配慮した活用を検討します。



○景観資源として農地をいかす

- ・遊休農地などの維持管理が不足した農地は、コスモスなどの特色ある景観作物の栽培を促進し、景観資源として有効に活用します。

<軸の方針>

○田園風景と調和した美しい沿道景観をつくる

- ・道路の沿道は、周辺の田園風景との調和に配慮し、土地利用や建築物の高さ・規模、色彩などを適切に誘導します。特に、東毛広域幹線道路(国道354号)沿道においては、土地利用及び建築物に加え、屋外広告物や道路占用物などを適切に誘導するとともに、河津桜の列植などにより魅力的な道路空間を創出します。

図5-1 眺望の保全に向けた建築物の配慮イメージ
(建築物の壁面後退による眺望保全)

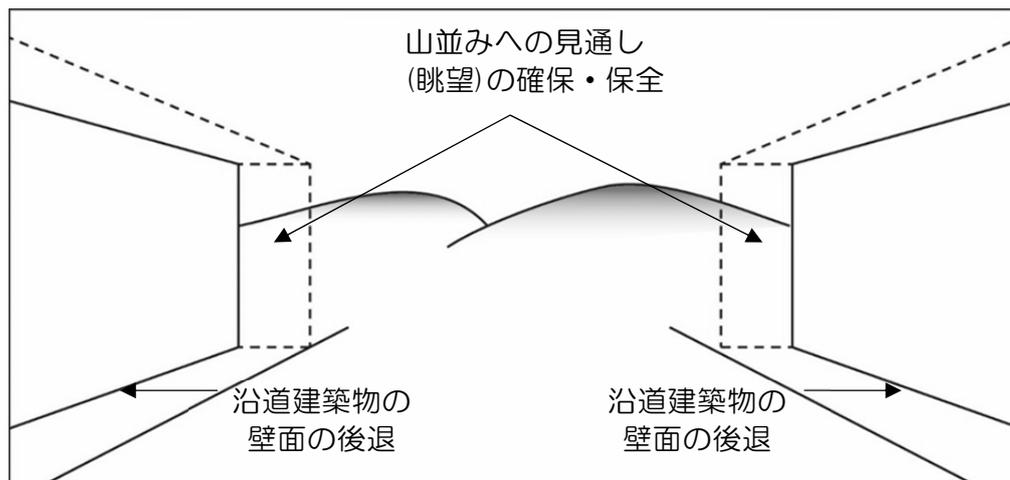
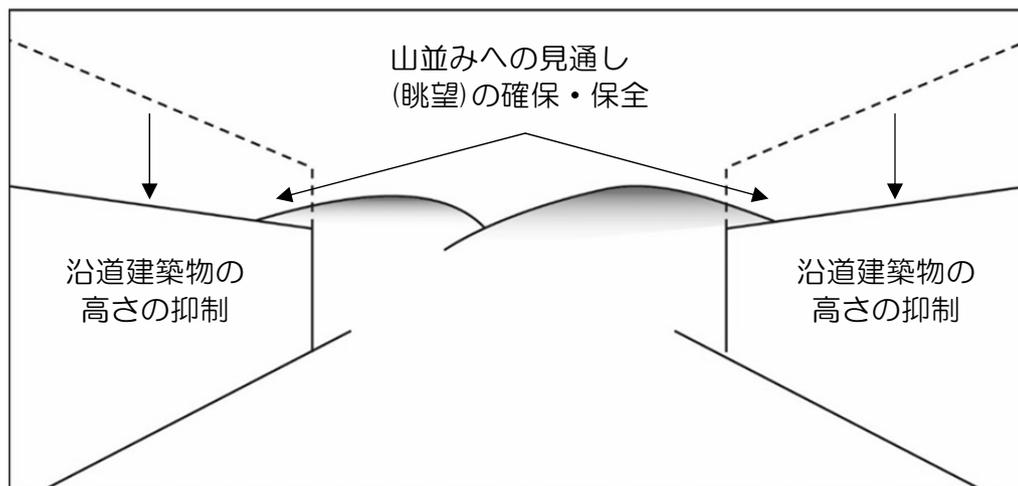


図5-2 眺望の保全に向けた建築物の配慮イメージ
(建築物の高さの抑制による眺望保全)



○緑豊かな水辺景観をまもる

- 利根川や烏川は、水面を介した眺望に優れているため、水質の維持・保全及び川岸の適切な維持管理などにより、河畔林と一体となった緑豊かな景観を保全します。





<拠点の方針>

○特色ある水や緑の景観をいかす

- ・岩倉自然公園や東部スポーツ広場公園、北部公園などの公園・広場は、河川の水辺や豊かな緑、花の名所といった各施設の特色を活かし、これらを基調とした景観に調和した施設の誘導などにより、レクリエーション空間としての魅力を高めます。



○歴史的な景観資源をまもり・いかす

- ・歴史的な資源である梨ノ木山古墳や軍配山古墳は、玉村町の歴史文化を語る景観資源であり、平坦な地形に位置する小高い丘として地域のランドマークとなっていることから、その保全とともに周辺を含めた環境整備と適切な維持管理によって魅力を高めます。

○町の玄関口にふさわしい拠点景観をつくる

- ・高崎玉村スマートインターチェンジ及び道の駅玉村宿周辺は、関越自動車道を介した町の玄関口として、周辺の田園風景に調和し、麦秋の郷としての玉村町のイメージを高める魅力的な景観を創出します。
- ・産業系の土地利用にあたっては、周辺の田園風景との調和に配慮した形態意匠や色彩、規模などによる建築物・工作物の立地を誘導します。また、敷地境界や敷地内の緑化を促進し、うるおいの感じられる景観を誘導します。

○眺望点にふさわしい環境をつくる

- ・北部公園や玉村大橋、福島橋、伊勢玉大橋、五料橋及び岩倉橋などの橋りょうが位置づけられる眺望点においては、周辺の山並みや水辺などの良好な景観を眺める場としての環境を創出します。

(2) 居住景域

【景観づくりのあるべき方向】

「麦秋の郷」の風景と調和した緑豊かな落ち着いた街並みへの誘導

<ゾーンの方針>

○田園風景に調和した集落の景観をつくる

- ・戸建て住宅や共同住宅などの立地が進んでいる集落においては、「かしぐね」の保全や敷地・道路の境界部分の緑化を促すとともに、周辺の田園風景に配慮し、色彩、高さや規模などが調和した建築物の立地の誘導により、暮らしの場にふさわしい景観づくりを進めます。
- ・管理が不足した空き地・空き家の有効利用や適切な維持管理を促すことにより、ふるさと感じさせる田園集落の景観を保全します。
- ・目立ちやすい土木構造物を生じる土地の改変や屋外における資材などの堆積・貯蔵を適切に誘導し、周辺の良好な集落景観を保全します。
- ・用水路は、田園風景を構成する重要な要素と捉え、周辺の自然的な景観との調和に配慮した活用を検討します。

<軸の方針>

○田園風景と調和した美しい沿道景観をつくる

- ・道路の沿道は、周辺の田園風景との調和に配慮し、土地利用や建築物の高さ・規模、色彩などを適切に誘導します。また、沿道の建築物や屋外広告物、電柱・電線その他道路占用物などの様々な要素で景観が形成されることから、景観軸となる道路を中心に集落としての特性を踏まえた良好な道路景観を創出します。



○水辺景観を自然豊かなよいものにする

- ・水辺は、暮らしの場の身近な自然空間であるため、適切な維持管理や水質の向上に向けた取り組みなどを進めるとともに、治水安全性に配慮しつつ、多自然型工法の導入などにより、自然の回復・再生を検討します。

<拠点の方針>

○地域の心のよりどころとなる歴史的建造物・史跡などをまもり・いかす

- ・社寺などの歴史的建造物や遺跡・史跡は、祭りなどの場であるとともに、地域の歴史文化を伝える景観資源として、シンボルやランドマークでもあるため、適切に維持・保全するとともに、これらを結びつける散策ルートの設定などにより、その価値を高めます。



5-2 市街地ゾーンの景観形成方針

【景観づくりのあるべき方向】

住みよさや活力が感じられる魅力的な街並みの創出

<ゾーンの方針>

○やすらぎの感じられる住宅地景観をつくる

- ・住宅地においては、色彩、高さや規模の調和を促すなど、落ち着きやすらぎの感じられる暮らしの場にふさわしい街並みの景観を創出します。また、敷地や道路の境界部分の緑化を促し、うるおいや彩りのある緑豊かな景観を創出します。
- ・目立ちやすい土木構造物を生じる土地の改変を適切に誘導し、良好な住宅地の景観を創出します。

○にぎわいのある商業地の街並みをつくる

- ・商業地においては、空き店舗対策をはじめとする商業の活性化を図りつつ、にぎわいが感じられる街並みを再生・創出します。
- ・商業店舗などが立地する幹線道路の沿道においては、周辺の景観から際だつ高さや規模、色彩などを一定程度制限することにより、街並みとして調和したものとなるよう、建築物や屋外広告物の設置・掲出を誘導します。

○周辺との調和に配慮した工業地景観をつくる

- ・工業地においては、大規模な工場や倉庫が周辺に圧迫感や威圧感を与えることのないよう、周辺景観との調和に配慮した形態意匠や色彩、規模などによる建築物・工作物の立地を誘導します。また、敷地境界や敷地内の緑化を促進し、うるおいの感じられる景観を誘導します。

<軸の方針>

○沿道の特性にみあった美しい沿道景観をつくる

- ・道路の沿道は、建築物や屋外広告物、電柱・電線その他道路占用物などの様々な要素で景観が形成されることから、景観軸となる道路を中心に住宅地や商業地、工業地など沿道の特性に配慮し、これらと調和した土地利用や建築物の高さ・規模、色彩、屋外広告物などを適切に誘導します。

<拠点の方針>

○景観づくりを先導する拠点景観をつくる

- 拠点に位置づけられる町役場周辺は、玉村町の中心にふさわしい景観となるよう庁舎施設などの形態意匠や色彩などに配慮するとともに、緑化の推進と適切な維持管理により、住民主体の景観づくりを先導する拠点景観を創出します。
- 文化センター周辺においては、土地区画整理事業による都市基盤施設の整備と地区計画に基づく市街地環境の誘導により、誰もが住みたい・住み続けたいと思える魅力的な住宅地の景観づくりを先導します。



○地域の心のよりどころとなる歴史的建造物・史跡などをまもり・いかす

- 社寺などの歴史的建造物や遺跡・史跡は、祭りなどの場であるとともに、地域の歴史文化を伝える景観資源として、シンボルやランドマークでもあるため、適切に維持・保全するとともに、これらを結びつける散策ルートの設定などにより、その価値を高めます。



5-3 玉村宿重点景観形成ゾーンの景観形成方針

【景観づくりのあるべき方向】

旧宿場町の風情や佇^{ふぜい たたず}まいを大切にしたい街並みの保全

<ゾーンの方針>

○旧宿場町の風情が感じられる街並みをまもる

- 切妻平入りの町家建築など、伝統的な建築物の和風の形態意匠や色彩、素材などを尊重し、玉村八幡宮などの歴史的景観資源が有する風情や雰囲気と調和した街並みを保全します。
- 景観を損ねる屋外広告物や自家看板の掲出を制限するとともに、個性や感性の感じられる色彩やデザイン、素材などを工夫した、旧宿場町の風情を演出する要素となる屋外広告物や自家看板を誘導します。
- 目立ちやすい土木構造物を生じる土地の改変や屋外における資材などの堆積・貯蔵を適切に誘導し、落ち着いた佇まいのある街並みを保全します。

<軸の方針>

○旧宿場町の風情を演出する道路景観をまもる

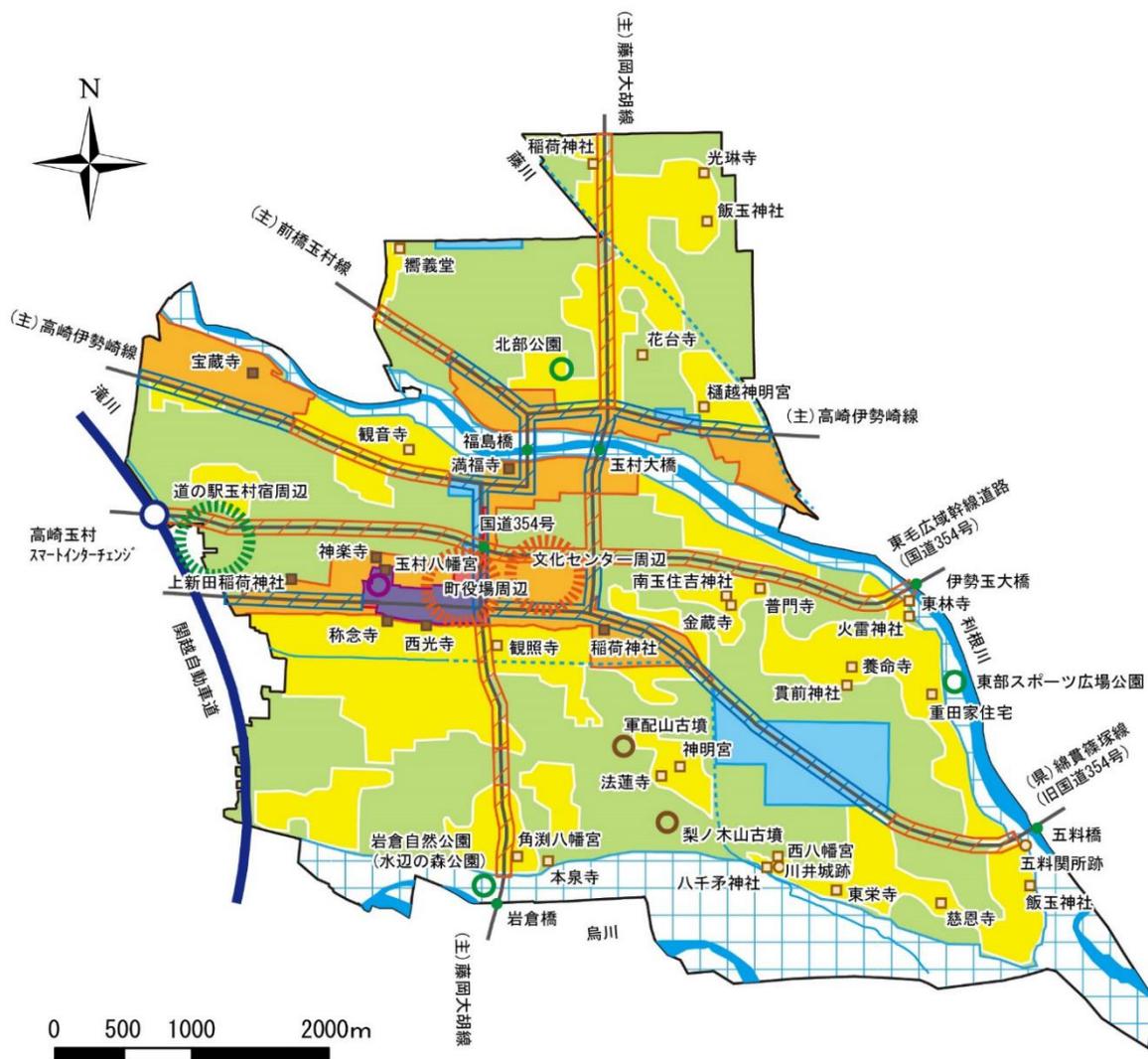
- 旧日光例幣使道である県道綿貫篠塚線(旧国道354号)のほか、これに接続し、散策コースとなるゾーン内の道路は、舗装の高質化や無電柱化、デザインの工夫された統一感のある案内板の設置など、必要に応じた修景整備により、旧宿場町の風情を保全します。

<拠点の方針>

○町のシンボルとなる景観資源をまもり・いかす

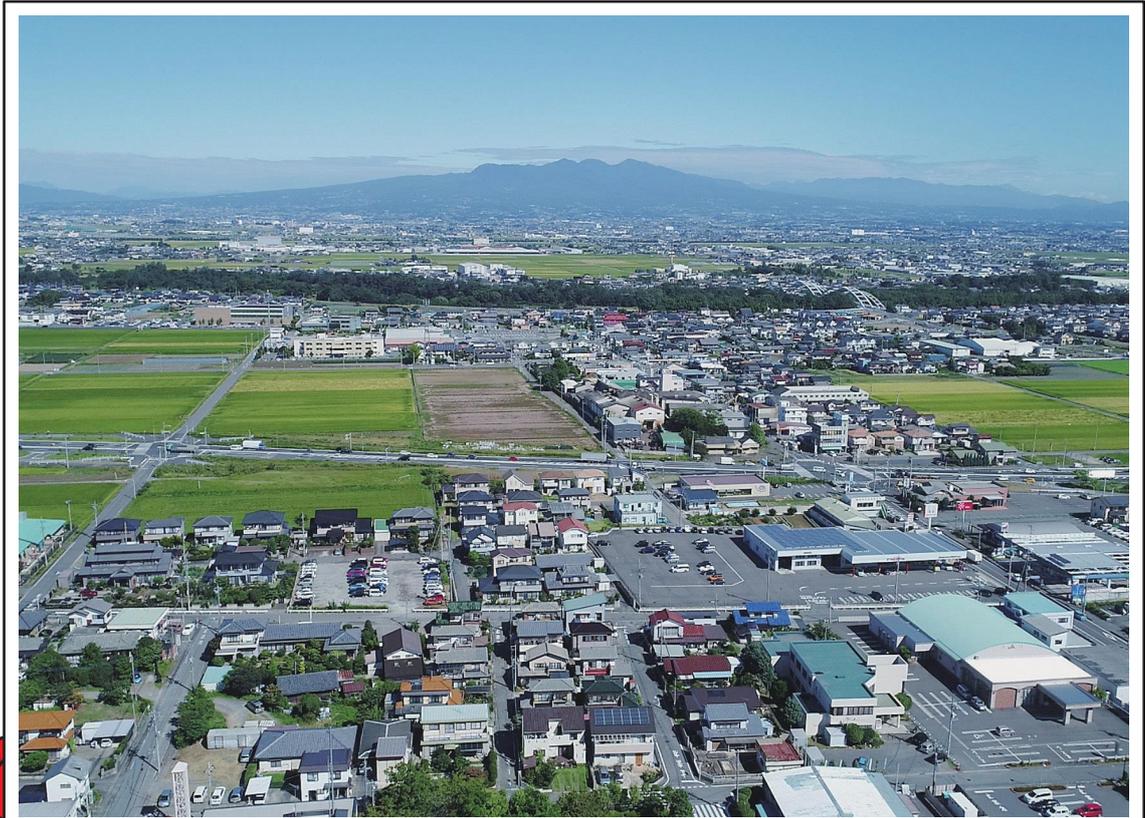
- 旧日光例幣使道を象徴する玉村八幡宮などの歴史的景観資源を保全するとともに、低層住宅を主体とした街並みから突出する高さの建築物の立地や、これらと調和しない土地利用を抑制するなど、歴史的景観資源を際立たせ、また調和する街並みを形成します。
- 散策コースの設定などによって歴史的景観資源相互を結びつけることにより、観光や余暇・レクリエーションの資源として活用します。

図5-3 景観形成方針図



凡例

<p>【田園居住ゾーン(田園景域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとも感じさせる田園風景をまもる ○景観資源として農地をいかす ○田園風景と調和した美しい沿道景観をつくる ○緑豊かな水辺景観をまもる ○特色ある水や緑の景観をいかす ○歴史的な景観資源をまもり・いかす ○町の玄関口にふさわしい拠点景観をつくる ○眺望点にふさわしい環境をつくる 	<p>【市街地ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やすらぎの感じられる住宅地景観をつくる ○にぎわいのある商業地の街並みをつくる ○周辺との調和に配慮した工業地景観をつくる ○沿道の特性にみあった美しい沿道景観をつくる ○景観づくりを先導する拠点景観をつくる ○地域の心のよりどころとなる歴史的建造物・史跡などをまもり・いかす
<p>【田園居住ゾーン(居住景域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田園風景に調和した集落の景観をつくる ○田園風景と調和した美しい沿道景観をつくる ○水辺景観を自然豊かなよいものにする ○地域の心のよりどころとなる歴史的建造物・史跡などをまもり・いかす 	<p>【玉村宿重点景観形成ゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旧宿場町の風情が感じられる街並みをまもる ○旧宿場町の風情を演出する道路景観をまもる ○まちのシンボルとなる景観資源をまもり・いかす



下新田から赤城山を望む